

『学会開催報告』

北陸がんプロ市民公開講座
「身近にいます薬剤師」
The Civic Open Lecture “Your Pharmacists”

金沢大学附属病院 教授・薬剤部長

宮 本 謙 一

平成22年11月28日(日)、近江町に新設されたいちば館の4階近江町交流プラザで開催した。午前11時ころから「薬剤師体験コーナー」として、薬剤師の仕事を解説したパネル展示、調剤体験コーナー、服薬時の便利グッズお試しコーナー、栄養剤や補助食品の試飲などが出来るブロックを準備して来客を待った。一方、治験マスコットぬいぐるみ“ちけんくん”と私を含めた若手?薬剤師が近江町市場内で風船やチラシを配って聴講者の勧誘を試みた。市場には多くの買い物客や家族連れが行きかっていたが、その半数程度は観光客と見られる方たちであり、近寄ってくるのは子供ばかり。一般の人の食いつきは良いとはいえなかった。しかし、午後1時からの講演が始まるころには会場に用意した席がほぼ埋まる程度になって、ほっとしたものでした。何しろ、病院薬剤師と開局薬剤師が中心となって企画した公開講座なので、みな力を入れて準備してきたもののどれくらいの聴衆が集まってくれるか、当日の天気とともに心配していたのですが、アラレも混じる荒天を考慮すればまずまずの出足といえた。講座の最初は、この企画のリーダーのNTT西日本金沢病院の橋本先生による薬剤師の仕事の概説、次いで、金沢大学附属病院の大川先生によって病気と栄養、特に食事の重要性が話された。そして、この講座の呼び物の薬剤師マジシャンである熊本県鶴田病院の今村先生の出番で、そのひょうきんな語りで見事なテーブルマジックに一同笑いとくつろぎのひと時を持った。後半はいろいろな立場の薬剤師から「病院では?」や「薬局の仕事」、「後発医薬品」や「ホスピスケア」の紹介があった後、講演者全員に加えて金沢赤十字病院副病院長の西村先生、石川県緩和ケア支援センター看護師の木村さんと聴講者の皆さんとの意見交換へと進んだ。会場からは、「多くの薬を飲んでいるが、副作用も多い。薬剤師はちゃんと説明や予防のための助言をして欲しい。」や「もうじき6年制卒の薬剤師が出てくる。今の薬剤師はしっかりしないといけない!」との叱咤激励をいただき、パネラーのみならず本講座の世話に駆けつけた若い薬剤師たちにとっては緊張のひと時であったようだ。午後4時過ぎに、西村先生と木村さんから薬剤師に

対して今後一層の活躍を期待するとの言葉をいただいて本会を締めた。この初めてといえる薬剤師の姿を見、働き振りを知ってもらう市民公開講座であったが、十分とはいえないまでも所期の目的は達成できた。そして、本講座の企画や準備、誘導、説明などに参加した薬剤師にとっても良い勉強の機会となったものと思われた。

